
タイトル：『汐製菓会社の新作26 ポップ
コーン』

「オープニング・ジングル」

ナレーター：皆さん、こんばんは！ ここは汐
製菓会社が放つ、新しいスナックの世界です。
今日は「ポップコーン ボルシチ味」の開発秘
話をお届けします。ユニークなアイデアと驚き
の試作過程をお楽しみください！

「シーン：汐製菓会社のオフィス」

効果音：「ビジネスオフィスの雑音、電話のベ
ル」

ナレーター：汐製菓会社の社長室。社長・汐
と秘書・塩田がデスクを囲んでいます。

汐…(元氣な声で) 塩田さん、今日は最高のアイデアを思いついたんだ！

塩田…(心配そうに) それはまた…一体どんなアイデアですか？ いつも驚かされてばかりで…。

汐…(興奮気味) ポップコーンの新しいフレーバーを作りたいんだ。しかもボルシチ味！

塩田…(驚きの声で) ボルシチ味！？ それって…ポップコーンとボルシチの組み合わせですか？ あまりにも異色すぎます。

汐…(自信満々に) そうなんだよ！ 普通じゃ面白くないから、もっとインパクトのあるものを作ろうと思っただよ。

塩田…(真剣に) でも、これが本当に売れるんでしょうか？ 海外の人たちにも受け入れられるのでしょうか…。

汐…（笑顔で）大丈夫！これが新しい風味で、きつと話題になるよ。今までにない味だからこそ、人々の記憶に残るんだ。

塩田…（ため息をつきながら）うーん、仕方ないですね…。でも、どうやって試作するんですか？

汐…（にっこり）早速、試作チームに指示を出そう。塩田さんもサポートしてね！

塩田…（渋々）はい、分かりました…。

「シーン？：試作室」

効果音…「ポップコーンがポンポンと弾ける音、厨房の音」

ナレーター…試作室では、汐製菓会社の試作チームがボルシチ味ポップコーンの試作に取り組んでいます。

試作チームA:(焦った声で)社長、このポップコーン、ボルシチの味が強すぎて、酸っぱくなっちゃいました!

試作チームB:(試行錯誤しながら)レッドビーツの色がポップコーンの黄金色と合わないし、サワークリームの風味が過剰かも…。

汐:(ノリノリで)それが良いんだ! 完璧じゃないからこそ面白いんだよ。少しずつ調整して、ユニークなものを作ろう!

塩田:(心配そうに)社長、これが市場に受け入れられるか本当に心配です…。実際に試食してもらえますか?

汐:(ポップコーンをつまみながら)うーん、確かに独特な味だけど、これが新しい体験なんだよ。ポジティブに捉えよう!

塩田…(試食しながら) うーん…やっぱりクセが強いですね。でも、ちょっと意外に面白いかも…。

汐…(うれしそうに) その通り！ これでいい！

試作チーム>>…(半信半疑で) それなら、レシピの改良を進めてみます…。

塩田…(ため息をつきながら) 了解です…。これで成功することを祈りましょう。

「シーン③：マーケティング会議」

効果音…「会議室の音、資料をめくる音」

ナレーター… 汐製菓会社のマーケティング会議が始まりました。新商品の戦略について話し合っています。

マーケティング担当…(真剣に) このボルシチ味ポップコーン、斬新すぎて注目されるかもしれませんが、どうマーケティングするかがカギです。

汐…(興奮気味に) それが面白さのポイントだ！ イベントで実際に試食してもらい、反応を見よう！ あと、ボルシチの歴史について学べるブースも作るという。

塩田…(メモを取りながら) 具体的にはどこでイベントを開く予定ですか？ どんな準備が必要ですか？

汐…(ひらめいたように) 都心の大きな公園で屋外イベントを！ そして、ポップコーンだけでなく、ボルシチの関連料理も提供しよう。

マーケティング担当…(感心して) それは良いアイデアですね。多様な料理と一緒にポップコーンを楽しむことで、商品の認知度が高まるでしょう。

塩田…（少し安心して）なるほど。イベントの
詳細な計画を立てる必要がありますね。準
備は大変ですが、頑張りましょう！

「シーン♪ イベント準備」

効果音…「忙しいイベント会場の音、準備の
音」

ナレーター… 汐製菓会社のイベント準備が進
んでいます。スタッフたちは忙しく働き、ポップ
コーンのブースを整えています。

スタッフA…（興奮気味に）もうすぐイベント開
始ですね！ すべてのポップコーンの準備は完
璧ですか？

スタッフB…（確認しながら）はい、ボルシチ味
ポップコーンの試食用サンプルも用意しまし
た。いよいよ本番です！

汐…(スタッフに指示しながら) みんな、準備
はできたかな? 来場者には驚きの体験を提
供しよう!

塩田…(緊張しながら) すべてが整いました…
あとは成功を祈るだけです。

汐…(元氣よく) そうだね! さあ、みんな頑
張ろう!

「シーン5: イベント当日」

効果音: 「賑やかなイベント会場の音、ポップコ
ーンを作る音、歓声」

ナレーター: イベント会場は大盛況。国内外
からの来場者が集まり、ポップコーンの試食ブ
ースは大賑わいです。

来場者A（日本人）…（驚きながら）これがポ
ルシチ味ポップコーン！？　すごくユニークな
味ですね！

来場者B（アメリカ人）…（興奮気味に）この
ポップコーンはまるでポルシチの味がする！　こ
んな体験は初めてだよ！

来場者C（フランス人）…（感心しながら）この
ポルシチ味は本当に面白い！　今までにない
体験ができたわ。

来場者D（中国人）…（興奮しながら）这个爆
米花的味道非常独特！　这是我吃过的最
奇特的零食！

汐…（自信満々に）どうだい？　やっぱり面白
いだろう？

塩田…（ホッとしながら）予想以上に好評のよ
うですね。これなら大成功かも…。

汐…(にっこり) うん、これで新しい風味が認められるといいね。次のステップへ進もう！

スタッフA…(お礼を言いながら) 本当にお疲れ様でした！ イベントは大成功です！

「シーン…終了後の反省会」

効果音…「会場の掃除の音、片付ける音」

ナレーター…イベントが終了し、反省会が開かれています。

汐…(リラックスした声で) みんな、お疲れ様！ 今日には本当に素晴らしい一日だったね。

塩田…(安心して) 予想以上に好評だったのは良かったです。これからも新しいアイデアに挑戦していきましょう！

試作チーム>>>(満足そうに) これでボルシチ
味ポップコーンが受け入れられるといいです
ね。次の試作も楽しみです。

汐:(意欲的に) もちろん! これからも新し
い挑戦をして、皆さんに喜ばれる商品を作り
続けよう!

「エンディング・ジングル」

ナレーター: 今回の「ポップコーン ボルシ
チ味」の開発秘話、いかがでしたでしょう
か? 新しいスナックの冒険はこれからも
続きます。次回もお楽しみに!